

こんにちは

編集/発行 医療法人 健成会
坂井内科クリニック
〒910-4137 福井県あわら市中番 17-18

診療科目 内科、循環器内科、糖尿病・脂質代謝内科
小児科、リハビリテーション科
診療時間 午前 8:30～12:30
午後 2:30～18:00
(土曜は 12:30 まで)
休診日 木曜午後、日曜、祝祭日
電話 0776-77-1070



マイナ保険証 師走の耳に 雑な音

こんにちは。12月になりました。12月2日からは新規の健康保険証が発行されず、マイナンバーカードを基にした「マイナ保険証」に移行していくということで、師走に入って何かとせわしない時期にさらに煩わしく感じられますね。

恐竜博物館への道中にある恐竜モニュメント「ホワイトザウルス」



7日頃から冬至までは「大雪」と云われ、平野にも降雪のある時節となります。北陸ではカニやブリなど冬の味覚が楽しみな時期でもありますね。**13日は正月事始め**で、神社仏閣などでは煤払い(すすはらい)や餅つきなど正月を迎える準備の話題が出てきますが一般家庭ではもう少し後ですかね。**22日は冬至**です。この日は洋の東西を問わず古代から太陽の力がいちばん弱まる日であり、また再び力を取り戻す日であることから、「太陽の死と復活」を祝うために世界の各地で冬至祭が行われます。**25日のクリスマス**もキリストの生誕祭とされていますが、本当の誕生日は不明で、古代からの冬至祭に合わせたとも云われています。日々寒さが増していきます。ご自愛ください。院長

令和6年度インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン接種について

●自治体の助成による定期接種は令和7年1月31日までです。

<対象> ・**65歳以上の方**、60歳～64歳で心臓、腎臓、肺などに重い障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方等です。

<費用> 自己負担金 インフルエンザ 2,200円、新型コロナウイルス 3500円が必要です。対象外の方は全額自己負担(インフル 4200円 新型コロナウイルス 15,500円 医療機関により差があります)となります。



虫食いに負けず成長した大根



家庭菜園奮闘記

先日ダイコンを初収穫しました。虫食いでどうなることかと思った株もそれなりに成長してきました(^^)。約1か月前に植えたタマネギの苗もしっかり活着し、前日の冷たい雨風にも負けず立ち続けています。早、中晩成、晩成と3種類を植えたので、来年はかなり長い時期収穫できるのかなと、今から(獲らぬ狸の皮算用)(^^)

冷たい雨やあられに耐える玉ねぎ苗



糖尿病習慣スペシャル対談

糖尿病協会誌 さかえ 10月号より
新潟大学医学部総合病院 准教授 石澤 正博 先生

糖尿病アドボカシーの未来予想図

門脇 孝(日本糖尿病学会前理事長)×清野 裕 (日本糖尿病協会理事長)

日本糖尿病学会と日本糖尿病協会が協働する糖尿病のアドボカシー活動の最新状況について、門脇先生と清野先生にお話ししていただきます。

門脇：糖尿病という病名を不快に感じる患者さんがいるなら、たとえ少数意見でも大切にすることが**アドボカシー活動**の原点であり、将来的には日本の狭い世界にとらわれていては状況は変わらない

清野：活動の一つとして「糖尿病」という呼称を**「ダイアベティス」**に変更しようとしています。抵抗感の有る医療者もいますが「ダイアベティス」という言葉がインスリン作用不足の状態を指すという疾患

概念が正しく届けられれば変更は可能です。糖や尿という**スティグマ**と結びついた言葉を放置したままではダメ

社会における糖尿病の知識不足、誤ったイメージの拡散により、糖尿病をもつ人は「特定の属性に対して刻まれる負の烙印＝**スティグマ**」（社会的偏見による差別）にさらされています。スティグマを放置すると、糖尿病をもつ人が社会活動で不利益を被るのみならず、治療に向かわなくなるという弊害をもたらすため、糖尿病であることを隠さずにいられる社会を作っていくことをアドボカシー(救済・支援)活動といいます

糖尿病は英語で“diabetes mellitus”といいます。ダイアベティスは英語のdiabetesに相当する単語をカタカナにしたものです

令和6年度市民健診のお知らせ

健診・がん検診を受けることで、生活習慣病予防や、がんの早期発見・早期治療につながります。1年に一回は健診やがん検診を受診して、自分の健康状態を確認しましょう。

特定健診、後期高齢者健診、74歳以下の人のがん検診（無料クーポン券含む）の受診券を必ず持参してください。集団と個別の医療機関（かかりつけ医）で受ける

ことが出来ます。**坂井内科クリニックは個別健診の指定医療機関です。**

詳しくは受付でご相談ください



待 合 室

A：マイナ保険証でいろいろと騒がれてますね。国民の「何故そうするのか」や「情報漏れが心配だ」などに政府が丁寧に答えていないことが問題だね。

B：現行の健康保険証の廃止がどのように決まったのか、その決定経緯が分かる記録を政府が残していなかったことが、某新聞の情報公開請求や関係者への取材で分かったそうだね。

Dr：事実上のマイナンバーカード取得義務化にも等しい大きな政策転換だったにもかかわらず、政府内でどのような議論があったのか分からないなって、政府の陰謀論か利権目当て論が出てきそうだな。

霞が関の官僚たちは「極めて異例」（財務省幹部）、「河野大臣が押し切った」（経済官庁幹部）と解説する。



A：マイナンバーカードに有効期限が2つあるの知ってた？

B：1つは発行されてから10回目の誕生日でカードを更新。2つ目は発行されてから5年ごと誕生日での電子証明書の更新だね

Dr：いずれも期限前に通知が送られてくるんだけど、原則として市役所でしかできないので、足のない高齢者では簡単に行けない。他人に依頼するのも不安。マイナ保険証として頻回に使う可能性のある高齢者のカードを施設や医療機関では預かれない。もう一度根本的にマイナンバーカードの制度設計をやり直さないと、本当に国民のメリットにはならない。国が一元管理したいメリットだけ。